2025年度

学校評価　結果報告書

学校法人金剛学園
大阪金剛インターナショナル中高等学校

2025年度 大阪金剛インターナショナル中高等学校　学校評価

1．目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の在学生がいる中で、お互いの文化や背景を尊重しながら国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できるような学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる＂輝く学校＂を目指し、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目標としている。

≪４Ｇで躍進する金剛人≫

- 国際社会に適応出来るグローバル人材の育成（Global）
- 正しい品性･人格を持った人間力と豊かな金剛人づくり（Goodness）
- 学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成（Greatest）
- 最適な教育環境の創出と幸せな学校づくり（Glitter）

2．中期的目標

1．国際人（Global）

①　国際社会に適応出来るグローバル人材の育成
②　韓･日･英語の三つの語学力の向上とトリリンガルの創出
③　多様な文化を体験することによる国際理解教育の実現
④　多彩な＂特化プログラム＂の実践とグローバル人材の育成

2．道徳人（Goodness）

①　正しい品性・人格を持った人間力の育成と豊かな金剛人づくり
②　礼儀正しく、規則を守ることのできる基本的生活習慣の涵養
③　学校行事や集団活動を通じ、社会生活に必要な協調性等を習得
④　地域社会と共生する教育共同体の構築

3．実力人（Greatest）

①　学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成
②　生徒のニーズに合わせた少人数教育の実現
③　自ら学ぶ姿勢を養う授業及び持続的な研究と専門性の向上
④　情報化社会に対応出来る教育内容の充実化と授業の改善

4．輝く学校（Glitter）

①教育共同体として満足できる、最適な教育環境の創出
②学校事務サービスの向上と情報公開
③HPやフェイスブックを通じた迅速な告知活動
④安全教育の推進と防犯グッズや設備の充実化

3.本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
Ⅰ国際社会に適応できるグローバル人材の育成	授業における語学力向上	【韓国語】 (中学校) 各学年習熟度別3～4クラスによる授業を実施。 (高等学校) 各学年習熟度別 4 レベルによる授業の実施。 【英語】 (中学校) 各学年習熟度別 3 レベルによる授業の実施。 (高等学校) 各学年習熟度別3～4レベルによる授業を実施。 【日本語】 海外からの入学生に対し国語の授業をサポート	韓国語能力試験、英検、日本語能力検定試験などの結果及び、定期考査の結果などを指標とする。	自分のレベルに合った授業を Ⅰ教師に対して７名程度の生徒で学べる語学授業の環境により、韓国語・英語を学ぶ意欲が高まり、主体的に検定試を受験する生徒が増え学習意欲が高まった。 韓国から来て間もない生徒が、日本語を学ぶ時間が確保され日本語習得が早い状態である。 また、慣れない日本での生活に適応するためのサポートができることから、日本語基礎授業が重要である。
	生きた外国語を身につける	【韓国語】 冬季韓国文化体験(中高) 【韓国語・英語】 高2国際総合コース全員留学	外部検定試験などを通して語学力向上の指標とする。	学校独自のプログラムに変更し、12 名が参加。国人やペジョンの協力および現地校との国際交流などを取り入れた文化体験を実施。机上での学びを実践にする場となった。 高 2 国際総合コース全員留学では生徒の語学力向上や多文化を学ぶ機会を設けることができた。 韓国9名、NZ9名、セブ 2 名
	異文化交流を通じ、母語と母国語の重要性を知る	【韓国語】 オン・オフによる国際交流の実施	グローバル交流団を中心とした生徒によるオン・オフライン国際交流の実施	オンラインだけでなく、対面型交流活動も数は少ないものの実施が可能となった。 グローバル交流団中心に実施していただが、関心のある生徒も次第に増え、交流に参加希望する生徒も増えてきた。

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
2 正しい品性・人格を持った人間力の育成と豊かな金剛人づくり	礼儀正しく、規則を守り、基本的生活習慣を守れる力を養う	登校指導 毎朝、登校時間に正門にて身だしなみの指導と同時に礼節指導	礼節・身だしなみを正すことで授業姿勢やトラブルを未然に防ぐ	礼節・身だしなみについて登校時に指導することで、校則を守る習慣が身についてきた。
		遅刻指導 月ごとに遅刻回数をポイント制にし、遅刻の軽減に向けて指導	担任が常時生徒の遅刻状況を確認し、アプローチをかけることで軽減につなげる	遅刻する生徒の減少がみられる。担任・副担任が丁寧に相談にのるとともに、家庭との連携も取れ成果が出ていた。
		全体集会 月初め木曜日に全体集会を開催し、本校の生徒としての誇りを持たせる為の講話や生徒会が決めた月間目標を発表。 「7 つの習慣 J」の学びの充実化	本校の生徒としての在り方を講話し、生徒一人一人の自尊感情を向上させる。 全体としての目標を共有する	年間を通して目標を掲げ、金剛学園の生徒としての意識を向上させることができた。 また、生徒会からの新しい取り組みも増え、生徒たちが主体となって集会を進めつつある。 「7つの習慣 J」のワードを1つ紹介し、月間チェレンジを実践することを促すことで、生徒たちが意識するようになってきた。
		フォーサイト手帳を導入し、週単位や1日のスケジュール管理を行う。	規則正しい生活習慣だけでなく、学習習慣化をめざす。	学校独自の手帳にその日のスケジュールなどを記入し、忘れ物防止や毎日決まった時間に学習する習慣を身につけ始めた生徒がいる。 しかし、スケジュール帳の管理や記入方法に慣れない生徒も多く、手帳の使い方指導に課題が残る。
	体験学習や集団活動を通じて、社会生活に必要な協調性や謙虚さを学ぶ	定期的に学年・学校全体を通して、ともに活動する機会を設け、コミュニケーション能力の向上、人間関係の形成、協調性を育むための機会を設定する。	各活動後に必ずアンケートをとり、生徒の満足度を図り、次回の活動に生かす	他学年との交流が活発であり、よりより人間関係を育むことができている。上の学年の生徒たちが、下の学年の面倒を見る姿も多くみられる。
		4 月:始業式 クラスメイトとのコミュニケーションを図る「学級目標づくり」 4 月:新入生宿泊オリエンテーション	学年の枠を超えた活動をすることで、コミュニケーション能力を高め、社会生活に不可欠な「協調性」の育成	新学期にクラスメイトと活動する時間からスタートするため、1 年間のクラスの雰囲気づくりのきっかけとなった。 時間をかけて学校の教育内容や指導内容について理解する時間となった。

		5月体育祭 中高等学校全体による縦割り活動とし、「応援合戦」	学年の枠を越えた人間関係の育成。	高校３年生がリーダーとなり、他学年を取りまとめ、体育大会の応援合戦の練習を集中的に行うことで、他学年との交流だけでなくみんなで協力する大切さや団結力を育むことができた。
		１月：旧正月 旧正月行事として韓国の伝統的な遊びの体験	伝統的な遊びの享受と多文化理解。	多文化を学ぶ機会になるとともに、伝統的儀式の継承の大切さについて考える機会となった。

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
３　学びを楽しむ学校文化の創造と調和のとれた学力の育成教師の授業力を高める	教師の授業力を高める	新学年度教職員研修 ・2024 年度の方針共有 ・学校間の枠を越えた交流 ・学校広報に関する戦略 ・安全教育 夏季学校種別研修の実施	校内研修及び外部講師を通して授業力の向上に努める。	新学年度スタート時に教職員研修を実施することで、教師間の意識統一や親睦を通して、チームワークを高めることができた。 夏季休暇中に中高が目指す教育像の確認し、協力関係を高める研修となった
		月１回の研究授業の実施。	研究授業を互いに見学し、見学後講評会を開く。 学校評価の指標とする。	月１回研究授業を全員で見学し、研究授業後の講評会でさらに授業内容について教師間で意見を交わすことで、授業の在り方について考える機会となった。
		授業満足度調査年２回実施。	年２回授業満足度を実施し、生徒の満足度を確認し、教師の意識改善・授業改善を図る。	年２回の生徒アンケートをもとに、各先生たちは自分の授業を振り返り、授業力向上に参考となっている。来年度は年３回実施予定。

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 教育共同体として満足できる、最適な教育環境の創出	生徒たちの安全確保のため、危機管理委員会を設置し、危機管理体制を強化する	火災・地震訓練 訓練一週間前から、火災が起きた場合を想定したALを各学年に実施 年２回実施	事前学習としてALを取り入れ、訓練に危機感をもたせた	前回の教職員アンケート（反省）を職員会議にて共有し、生徒だけでなく教員も、訓練のための訓練にならないよう意識して取り組むことができた。
		SNS対策 中高全体でSNSについて学ぶ	SNSにおいて、人を傷つける、あるいは道徳的に不適切な動画を上げてはいけないことを学ばせる	SNSに関するトラブルもあり、事例を紹介しながらＳＮＳの使用方法などを学んだ。
		学校危機管理 中学生対象に学校危機に関する内容を実施。その後、アンケート、感想文	自分の身は自分で守るため、校内だけでなく登下校時の危機管理まで考えさせる	不審者の心理や、行動が起きる環境などを学び、命の大切さを周知させた。

4. アンケート実施時期と回答率

対象	実施日	回答/回答率
中学校	2026年3月16日	37名/43名 回答率86.0%
高等学校	2026年3月16日	43名/45名　回答率95.6%
保護者	2026年3月10~18日	中学26世帯/64世帯 回答率40.6%
		高校20世帯/45世帯 回答率44.4%
教師		16名/20名　回答率80.0%

2025 年度学校評価アンケート結果【中学校・生徒】

実施日：２０２６年３月１６日

対象生徒数：４３名中３７名の回答（回答率：86.0%）

「思う」3段階合計比較

	アンケート内容	とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2025 年度	2024年度
1	学校生活は楽しいですか	37.8	35.1	21.6	2.7	2.7	94.5	93.1
2	目標を持って学校生活が送れていますか	27	29.7	24.3	13.5	5.4	81	91.4
3	韓国語（日本語）が上達している実感がありますか	29.7	40.5	24.3	0	5.4	94.5	86.2
4	英語が上達している実感がありますか	21.6	45.9	21.6	8.1	2.7	89.1	87.9
5	韓国あるいは他国の文化を理解できるようになっていますか	32.4	45.9	16.2	5.4	0	94.5	91.4
6	先生は熱心に授業をしてくれていますか	37.8	37.8	16.2	5.4	2.7	91.8	96.5
7	先生の授業はわかりやすいですか	27	29.7	40.5	2.7	0	97.2	96.5
8	あなたは意欲的に授業を受け、学力向上に努めていますか	18.9	40.5	27	8.1	5.4	86.4	89.7
9	計画的に家庭学習ができていますか	10.8	16.2	27	21.6	24.3	54	67.3
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	24.3	35.1	29.7	5.4	5.4	89.1	89.7
11	学校は安全に生活できる場所だと思いますか	48.6	21.6	18.9	5.4	5.4	89.1	96.5
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	24.3	24.3	21.6	18.9	10.8	70.2	74.2
13	しっかりと挨拶ができていますか	51.4	27	13.5	8.1	0	91.9	96.5
14	学校生活の決まりを守っていますか	35.1	35.1	21.6	5.4	2.7	91.8	94.8
15	学校生活の中で人間関係に困ることがありますか	10.8	21.6	29.7	13.5	24.3	62.1	58.6
16	体育祭や文化祭などの行事は積極的に参加できていますか	47.2	27.8	22.2	0	2.8	97.2	96.6
17	生徒会活動や学級活動は積極的に参加できていますか	24.3	24.3	29.7	13.5	8.1	78.3	85.9
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	24.3	13.5	37.8	10.8	13.5	75.6	84.5
19	部活動は活発だと思いますか	45.9	13.5	18.9	13.5	8.1	78.3	91.4
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思いますか	32.4	35.1	21.6	8.1	2.7	89.1	91.3

＊数値はすべて%である。

2025年度学校評価アンケート結果【高等学校・生徒】

実施日：２０２６年３月１６日

対象生徒数：４５名中４３名の回答（回答率：95.6%）

「思う」3段階の合計比較

	アンケート内容	とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2025年度	2024年度
1	学校生活は楽しいですか	23.3	34.9	25.6	14	2.3	83.8	88.9
2	目標を持って学校生活が送れていますか	16.3	46.5	27.9	7	2.3	90.7	86.7
3	韓国語（日本語）が上達している実感がありますか	20.9	27.9	34.9	14	2.3	83.7	86.7
4	英語が上達している実感がありますか	14	34.9	25.6	23.3	2.3	74.5	75.6
5	韓国あるいは他国の文化を理解できるようになっていますか	30.2	44.2	20.9	2.3	2.3	95.3	95.6
6	先生は熱心に授業をしてくれていますか	41.9	46.5	9.3	0	2.3	97.7	91.2
7	先生の授業はわかりやすいですか	23.3	51.2	20.9	4.7	0	95.4	88.9
8	あなたは意欲的に授業を受け、学力向上に努めていますか	16.3	30.2	44.2	9.3	0	90.7	84.5
9	計画的に家庭学習ができていますか	9.3	14	25.6	34.9	16.3	48.9	57.8
10	学校はあなたの学力を伸ばしてくれていると思いますか	16.3	37.2	32.6	14	0	86.1	77.8
11	学校は安全に生活できる場所だと思いますか	32.6	48.8	14	2.3	2.3	95.4	82.2
12	学校の先生に悩みや相談などがしやすいですか	16.3	44.2	27.9	4.7	7	88.4	73.4
13	しっかりと挨拶ができていますか	41.9	34.9	20.9	0	2.3	97.7	93.4
14	学校生活の決まりを守っていますか	51.2	32.6	14	0	2.3	97.8	95.6
15	学校生活の中で人間関係に困ることがありますか	14	11.6	23.3	25.6	25.6	48.9	60
16	体育祭や文化祭などの行事は積極的に参加できていますか	34.9	32.6	27.9	2.3	2.3	95.4	91.1
17	生徒会活動や学級活動は積極的に参加できていますか	25.6	27.9	34.9	7	4.7	88.4	84.5
18	進路指導について、相談機能が充実していると思いますか	23.3	51.2	20.9	4.7	0	95.4	80
19	部活動は活発だと思いますか	27.9	37.2	23.3	7	4.7	88.4	75.6
20	学校は自分を育ててくれる場所として有益だと思いますか	32.6	55.8	7	2.3	2.3	95.4	86.6

＊数値はすべて%である。

2025年度学校評価アンケート結果【中学校・保護者】

実施日：２０２６年３月１０日～１８日

対象保護者数：６４名中２６名の回答（回答率：40.6%）

「思う」3段階の合計比較

	アンケート内容	とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2025年度	2024年度
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	44	44	12	0	0	100	89.4
2	学校はホームページでよく情報を発信している	36	52	12	0	0	100	87.1
3	学校は他校にない特色ある学校づくりに取り組んでいる	48	32	20	0	0	100	84.7
4	子どもは韓国語（日本語）・英語の語学力が向上している	28	40	20	8	4	88	76.9
5	学校は国際理解・環境・人権等の教育課題を学ばせている	32	36	28	4	0	96	89.8
6	子どもは明るく学校生活を送っている	48	32	16	4	0	96	87.2
7	学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている	40	32	20	8	0	92	92.3
8	体育祭や文化祭などの学校行事が活発である	52	36	12	0	0	100	89.8
9	教職員は生徒に対して熱心に教育している	60	20	20	0	0	100	87.2
10	生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている	40	40	16	4	0	96	84.6
11	学校の生活指導の方針に共感ができる	24	48	12	16	0	84	84.7
12	授業はわかりやすいようだ	20	44	32	4	0	96	79
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	24	52	12	8	4	88	76.8
14	学校の先生は生徒の悩みや相談などにのってくれている	48	24	16	12	0	88	66.6
15	学校の進路指導は適切に行われている	28	36	36	0	0	100	74.3
16	学校は保護者と話す機会を多く持っている	32	32	32	4	0	96	84.6
17	部活動は活発である	40	24	28	8	0	92	84.6
18	生徒会活動は活発である	36	40	24	0	0	100	89.7
19	学校は事故の防止に配慮している	28	44	28	0	0	100	87.1
20	学校の施設・設備は、よく整備されている	44	36	8	12	0	88	87.2

＊数値はすべて%である。

2025年度学校評価アンケート結果【高等学校・保護者】

実施日：２０２６年３月１０日～１８日

対象保護者数：４５名中２０名の回答（回答率：44.4%）

「思う」3段階の合計比較

	アンケート内容	とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2025年度	2024年度
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	46.7	53.3	0	0	0	100	86.7
2	学校はホームページでよく情報を発信している	46.7	40	6.6	0	6.7	93.3	90
3	学校は他校にない特色ある学校づくりに取り組んでいる	46.7	46.7	6.6	0	0	100	100
4	子どもは韓国語（日本語）・英語の語学力が向上している	40	46.7	6.6	0	6.7	93.3	96.7
5	学校は国際理解・環境・人権等の教育課題を学ばせている	26.7	66.7	6.6	0	0	100	96.6
6	子どもは明るく学校生活を送っている	40	53.3	0	6.7	0	93.3	89.9
7	学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている	13.3	80	6.6	0	0	99.9	83.4
8	体育祭や文化祭などの学校行事が活発である	60	40	0	0	0	100	93.4
9	教職員は生徒に対して熱心に教育している	46.7	46.7	0	0	6.7	93.4	90
10	生徒に社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている	33.3	46.7	20	0	0	100	80.1
11	学校の生活指導の方針に共感ができる	26.7	60	13.3	0	0	100	72.4
12	授業はわかりやすいようだ	6.7	73.3	20	0	0	100	86.7
13	学校は生徒の学力を伸ばそうと努力している	26.7	60	13.3	0	0	100	83.4
14	学校の先生は生徒の悩みや相談などにのってくれている	40	46.7	13.3	0	0	100	86.7
15	学校の進路指導は適切に行われている	20	60	13.3	0	6.7	93.3	78.5
16	学校は保護者と話す機会を多く持っている	26.7	46.7	20	0	6.7	93.4	86.1
17	部活動は活発である	46.7	13.3	26.7	6.7	6.7	86.7	79.9
18	生徒会活動は活発である	26.7	53.3	13.3	0	6.7	93.3	86.6
19	学校は事故の防止に配慮している	20	66.7	13.3	0	0	100	93.3
20	学校の施設・設備は、よく整備されている	33.4	60	6.6	0	0	100	93.1

＊数値はすべて%である。

2025年度学校評価アンケート結果【中高等学校教師】

実施日：2026年3月10日～18日

対象教師：20名中16名の回答（回答率：80.0%）

「思う」3段階の合計比較

		とても思う	思う	やや思う	やや思わない	思わない	2025年度	2024年度
1	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	31.3	37.5	18.8	12.4	0	87.6	87.6
2	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	37.5	37.5	25	0	0	100	100
3	学習指導要領に沿った教育計画を立てている。	18.8	50	25	6.2	0	93.8	93.8
4	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動がされている。	31.3	31.3	31.3	6.1	0	93.9	93.9
5	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	25	37.5	31.3	6.2	0	93.8	93.8
6	学校の予算、決算の収支について理解している。	50	25	25	0	0	100	87.6
7	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	18.7	50	31.3	0	0	100	100
8	危機管理マニュアルによる災害・事故・事件についての役割分担、警察・消防との連携・訓練など学校の安全対策は十分とられている。	37.5	31.3	18.7	12.5	0	87.5	87.5
9	地域や地域住民との交流ができている。	37.5	12.5	37.5	50	0	87.5	87.5
10	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	31.3	31.3	31.3	6.1	0	93.9	93.9
11	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	50	31.3	18.7	0	0	100	100
12	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	50	25	18.7	6.1	0	93.7	93.7
13	生徒の情報能力の育成と情報を扱うモラル面の教育に十分に取り組んでいる。	31.3	50	18.7	0	0	100	100
14	主体的な生徒会活動をできるように指導し、支援している。	6.2	68.9	18.8	6.2	0	93.9	93.9
15	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	0	18.8	18.8	62.4	0	37.6	37.6
16	部活動は活発である。	25	50	25	0	0	100	93.9
17	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	18.8	62.4	18.8	0	0	100	100
18	生徒の生活指導をする組織的な体制があり、一貫した生徒指導を行っている。	62.4	18.8	18.8	0	0	100	100
19	校内巡視や登校指導、校外補導を定期的に実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	62.4	18.8	18.8	0	0	100	100
20	学習習慣の定着を指導する体制があり、生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。	25	62.5	12.5	0	0	100	93.7

＊数値はすべて%である。

2025 年度 中学校・高等学校生徒アンケート 総合分析と今後の改善方策

2025 年度の学校評価アンケートでは、中学校・高等学校ともに、授業のわかりやすさや学校行事への積極的な参加、異文化理解などの項目で高い評価が得られた。特に、本校の特色である多言語・多文化教育や学校行事を通した教育活動が、生徒の学びや学校生活の充実につながっていることがわかる。

また、高等学校では、教員の授業に対する熱心さ、進路相談、学校生活の安全性、教員への相談のしやすさなど、多くの項目で前年度から改善が見られ、教育活動や生徒支援に対する取り組みが一定の成果を上げている。

一方、中学校・高等学校に共通する課題として、計画的な家庭学習への取り組みが挙げられる。授業に対する評価は高いものの、生徒自身が学習目標を持ち、主体的・継続的に学習する習慣の定着には課題が残る。また、中学校では教員への相談のしやすさや進路相談、学校生活の安全性などの評価が前年度より低下しており、生徒一人ひとりに寄り添った支援体制のさらなる充実が求められる。

今後は、次の 3 点を重点的な改善方針とする。

第一に、主体的な学習姿勢の育成と学習習慣の確立である。 授業の目標と到達基準を明確にし、生徒の習熟度や学習状況に応じた指導を充実させる。また、学習計画の作成と振り返りを継続的に実施し、家庭学習の習慣化と学力向上につなげる。

第二に、生徒一人ひとりに寄り添った教育と支援体制の充実である。 日常的なコミュニケーションや個別面談を大切にし、生徒が安心して悩みや不安を相談できる環境づくりを進める。また、教職員間での情報共有と連携を強化し、生徒の状況に応じた組織的な支援を実施する。

第三に、本校の特色を生かした教育活動のさらなる充実である。 韓国語・英語教育の質の向上を図るとともに、国際交流や異文化理解教育を充実させ、生徒が自らの成長を実感できる教育活動を推進する。また、生徒会活動や学校行事、部活動などを通して、生徒が主体的に考え、行動する機会を増やしていく。

これらの改善に向けて、教職員全体で課題を共有し、具体的な目標を設定するとともに、定期的な検証と改善を継続する。

今後も「生徒一人ひとりに寄り添った教育」を基本姿勢とし、生徒が安心して学校生活を送り、自ら目標を持って学び、成長を実感できる学校づくりを推進していく。

2025 年度 中学校・高等学校保護者アンケート 総合分析と今後の改善方策

2025 年度の保護者アンケートでは、中学校・高等学校ともに、教育方針の周知、特色ある学校づくり、学校行事、教職員の指導など、多くの項目で高い評価が得られた。特に、本校の特色である多言語・多文化教育や国際理解教育、学校行事を通した教育活動について、保護者から一定の理解と支持が得られていることがわかる。

前年度との比較では、中学校において進路指導や教員への相談体制、授業のわかりやすさなどの評価が大幅に向上した。また、高等学校では生活指導方針への共感、学力向上への取り組み、進路指導などの評価が改善しており、これまでの教育活動や生徒支援の取り組みが一定の成果につながっていると考えられる。

一方で、中学校では生活指導方針への共感や学力・語学力向上の実感、高等学校では部活動の充実や語学力向上の実感などに改善の余地が見られる。また、生徒アンケートとの比較から、教員への相談のしやすさなどについて、生徒と保護者の受け止め方に違いがあることも確認された。

これらの課題を踏まえ、次年度は以下の取り組みを重点的に推進する。

第一に、学習指導の充実と学習成果の可視化である。 生徒一人ひとりの習熟度や学習状況を的確に把握し、明確な目標に基づいた授業改善を進める。また、語学力や学力の向上を生徒自身が実感できるよう、学習成果の確認と振り返りを充実させ、その状況を保護者とも共有する。

第二に、生徒一人ひとりに寄り添った教育と保護者との信頼関係の強化である。 生徒の状況や思いを丁寧に把握し、安心して相談できる環境づくりを進める。また、生活指導の方針や指導の目的について保護者への説明を充実させ、学校と家庭が共通理解のもとで生徒の成長を支える体制を構築する。

第三に、学校の特色を生かした教育活動の充実である。 韓国語・英語教育や国際交流など、本校の特色ある教育活動をさらに発展させるとともに、学校行事、生徒会活動、部活動など、生徒が主体的に取り組む機会を充実させる。

第四に、保護者との連携と学校評価の充実である。 学校からの情報発信を継続するとともに、保護者との対話の機会を大切にし、教育活動への理解と協力を深める。また、学校評価アンケートの回答率向上を図り、より幅広い保護者の意見を学校運営の改善に反映させる。

今後も、教職員全体で学校評価の結果と課題を共有し、具体的な改善目標を設定するとともに、継続的な検証と改善を進めていく。

生徒一人ひとりに寄り添った教育を基本とし、学校と家庭が相互に信頼し、連携しながら、生徒の学力向上と豊かな人間性の育成を目指していく。

2025年度 教職員アンケート結果の分析と今後の改善方策

学校の教育目標の理解、特色ある教育活動、生徒指導体制、学校行事など、多くの項目で高い評価が得られた。特に、トリリンガル教育や国際理解教育、教職員間の連携、生徒の学習習慣の定着に向けた指導については、肯定的な回答が90%を超えており、学校全体で教育活動に積極的に取り組んでいることがうかがえる。

一方で、図書室の利用促進や読書指導に関する肯定的回答は37.6%と著しく低く、改善が必要である。また、建学の精神の浸透や学校の安全対策、地域との交流についても、さらなる充実が求められる。

今後は、教職員間の情報共有と連携を一層強化するとともに、教育活動の目標を明確にし、組織的かつ継続的な改善に取り組む。また、読書活動の推進や安全管理体制の充実、地域との交流機会の拡大を図る。

さらに、生徒・保護者アンケートとの比較では、教職員が学習習慣の定着に向けた指導体制を高く評価している一方、生徒自身の家庭学習に対する評価は低いことから、教員の取り組みが生徒の主体的な学習行動や学力向上に結びついているかを検証し、指導方法の改善につなげることが重要である。

今後も、生徒一人ひとりに寄り添った教育を基本とし、教職員全体で課題を共有しながら、教育の質の向上と学校運営の改善に努めていく。

大阪金剛インターナショナル中高等学校

2025年度学校評価 学校関係者評価委員会報告書

1. 実施日時：2026年4月17日(金) 17時～18時

2. 場所：会議室

3. 出席者

No	氏名	役職
1	尹裕淑	大阪金剛インターナショナル小中高等学校校長
2	花田 昌美	大阪金剛インターナショナル中高等学校教頭
3	全鍾憲	学校法人金剛学園事務長
4	菅原良太	大阪金剛インターナショナル中高等学校教務主任
5	李勝日	金剛学園 PTA 会長
6	佐藤直子	金剛学園 PTA 副会長
7	高江洲麻美	金剛学園 PTA 副会長